



RSウイルス感染症が流行中 乳幼児・高齢者は要注意!

令和3年7月7日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)

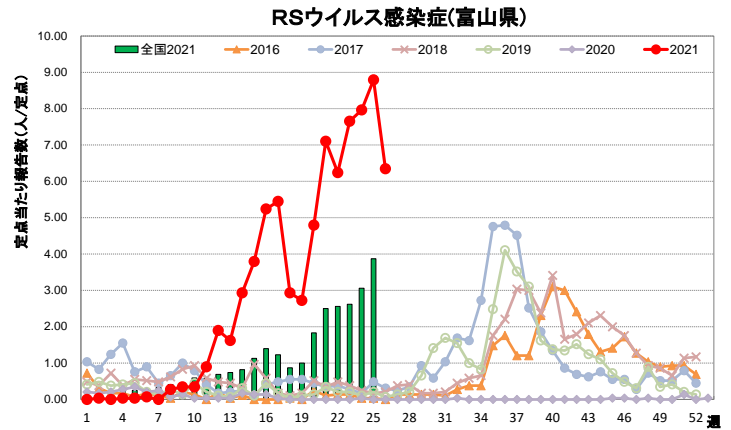
感染症発生動向速報

(令和3年第26週分・6月28日～7月4日)

《インフォメーション》

●RSウイルス感染症

RSウイルス感染症は、RSウイルスを原因とする急性呼吸器感染症です。今週、県内のRSウイルス感染症の報告数は、定点医療機関当たり6.34人で、前週より減少したものの、全国平均と比較して高い状況が続いています(右図参照)。RSウイルス感染症の全国における報告数は、近年、夏から徐々に増加し秋にピークを迎える傾向がありました。しかし、今年は全国的に例年とは全く異なる流行パターンを示しており、県内でも3月頃から報告数が急増しています。



今年の県内症例の年齢分布をみると、2～5歳児が大半を占めています。昨年は、新型コロナウイルス対策等の影響でRSウイルス感染症がほとんど流行しなかったため、この年代の子供たちがウイルスに対する免疫を持っていないことが推測されます。

RSウイルス感染症は、感染から4～6日の潜伏期間の後、鼻汁、咳、発熱などの上気道症状が認められます。1歳未満、とくに6ヵ月未満の乳児や早産児では重症化しやすく、入院治療が必要となる場合もあります。高齢者や心臓・肺に持病のある人では重症化する場合があります。主な感染経路は飛沫感染と接触感染です。現在、有効なワクチンや治療薬はないため、手洗いや手指消毒、マスク着用などの基本的な感染対策で予防を徹底しましょう。また、幼稚園や保育所の流行状況に注意し、体調が悪いときは登園を控えることも検討しましょう。

《全数報告の感染症》

- 新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 8件
- 二類感染症 結核 4件 (①第24週診断分：70歳代、男性 ②10歳代、男性 ③80歳代、男性 ④90歳代、男性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件 (10歳未満、男性、O26、VT1)
- 四類感染症 レジオネラ症 2件 (①40歳代、男性、肺炎型 ②90歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1件 (90歳代、女性)
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 (第25週診断分：80歳代、男性、B群)
- 播種性クリプトコックス症 1件 (60歳代、男性)

《定点報告の感染症》

順位	疾病名	定点あたりの数	
		今週 (増減)	先週
1位	RSウイルス感染症	6.34 (↓)	8.79
2位	感染性胃腸炎	2.14 (↓)	3.28
3位	咽頭結膜熱	0.52 (↑)	0.38
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.45 (↑)	0.28
5位	突発性発しん	0.28 (↓)	0.31
6位	水痘	0.07 (↓)	0.14
	流行性耳下腺炎	0.07 (↑)	0.00

○感染症発生動向調査報告状況（令和3年第26週 令和3年6月28日～令和3年7月4日）

分類	疾患	今週報告分（第26週）						累積報告数（令和3年第1週（1月4日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	1		1		6		8	116	133	356	65	763	32	1,465
二類感染症	結核			1		2		3	8	5	21	9	24		67
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症					1		1			3	1	2		6
四類感染症	E型肝炎								1				1		2
	つつが虫病								1						1
	レジオネラ症		1			1		2		2	7		2		11
五類感染症	ウイルス性肝炎								2						2
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症				1			1			1	2	2		5
	急性脳炎										1				1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症										2		2		4
	後天性免疫不全症候群								1				1		2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症										1	1	1		3
	侵襲性肺炎球菌感染症								1		2		10		13
	水痘（入院例）												1		1
	梅毒								1	1	3		12		17
	播種性クリプトコックス症					1		1					2		2
	破傷風										1				1
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ										5				5
	RSウイルス感染症	6	3	116	31	28		184	103	113	1,173	102	757		2,248
		1.50	1.00	14.50	7.75	2.80		6.34							
	咽頭結膜熱	2	2	3	4	4		15	26	30	126	6	90		278
		0.50	0.67	0.38	1.00	0.40		0.52							
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	1	3	1	5		13	60	33	424	77	185		779
		0.75	0.33	0.38	0.25	0.50		0.45							
	感染性胃腸炎	15	7	19	1	20		62	490	247	378	166	978		2,259
		3.75	2.33	2.38	0.25	2.00		2.14							
	水痘			2				2	1	6	22	5	26		60
				0.25				0.07							
	手足口病					1		1	3		10	1	7		21
						0.10		0.03							
	伝染性紅斑			1				1		1	7	1	12		21
				0.13				0.03							
	突発性発しん	1		2		5		8	36	19	90	38	80		263
		0.25		0.25		0.50		0.28							
ヘルパンギーナ								16	1	2		1		20	
流行性耳下腺炎					2		2	2	2	5	3	6		18	
					0.20		0.07								
流行性角結膜炎									1					1	
細菌性髄膜炎												2		2	
無菌性髄膜炎												2		2	
マイコプラズマ肺炎										1	7	1		9	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）								1						1	
インフルエンザによる入院患者（※2）											1	8		9	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。 ※1 その他は県外、居住地非公表分です。 ※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和2年第36週(8月31日)～の集計です